

建築現場における産業廃棄物 「余り生コンクリート」の排出抑制



トライアロー株式会社
広島県東部生コンクリート協同組合
三谷建設株式会社
西部工業技術センター生産技術アカデミー
広島工業大学

定岡 範佳 島崎 政信 田口 花音
牧 真路
桶田 直美
佐々木健吾
山田 明

1. 研究の背景

県内で年間34,240m³(2021年度出荷ベース)排出している建築現場での余り生コンクリート量が増加!

- 【原因】 ①現場測定者経験不足:今までの的確な測定における引継不足
 ②施行(時間)優先 :工期遅れで施主支払延期や工事自体停止を回避する為

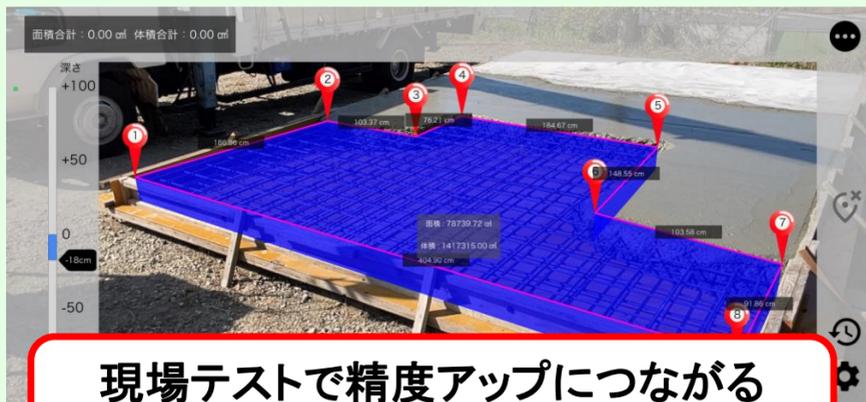
- 【阻害事項】:(1) 優先課題と捉えていない
 (2) 抑制手法がわからない

増加を抑える～解決に向けて

- ☆目視測定に変わる「機材」の利用へ!
- ☆コンスタントに余り最小を可能とする「機材」の開発

以上にたどり着く

2. 研究目的



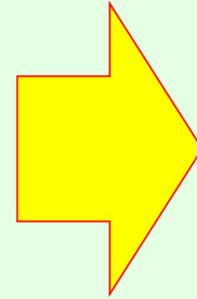
現場テストで精度アップにつながる成果を出す!

【機材開発】

- ◆トライアロー製測定アプリを他社より
 - ・測定精度の高い
 - ・価格を抑え「誰でも」使える
- 内容にて開発できる様、当研究会で支援

【他社既存品利用参考→〇どこを「参考」】

- ◆測定アプリ他社品
 - ・現場テストにて使いやすい/いい機能を確認
 - ・〇な機能は参考にして実装に活かす



手動→機材でより正確に!

3. 研究の成果(各アジェンダ)

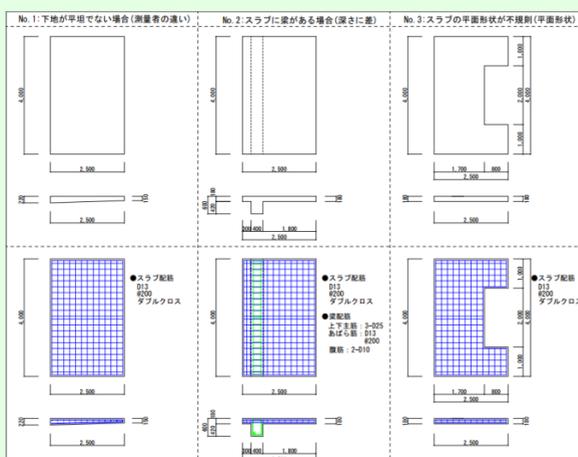
【研究会】8回実施(現地テスト4回実施含)

- 【内容】「前年度成果振り返り/今年メイン研究課題設定」
 「他社品何を採用する?/テストする仮設現場設営について」
 「実際に仮設現場でテスト!《1回目/2日間実施》」
 「仮設現場テスト成果..もう1回やろう!」
 「2回目仮設現場設営/テスト実施..そして成果発表へ」



仮設現場内打設中

4. データなど



2回目仮設現場図面 (3パターン)



アプリで測定中



全国紙にも紹介されました!